



✉ いまいだより。

檜原市議会議員

今井 りか
Rika Imai

今井りか後援会

検索

<https://www.facebook.com/imai.kashihara/>



プロフィール

- ・1986年4月11日生まれ
- ・平城西小/登美ヶ丘中卒業
- ・O型 / 158cm
- ・一条高校外国語科卒業
- ・土橋町在住
- ・2021年2月
- ・真菅北小学校 PTA 会長
- 市議会議員選挙 初当選 (現在)
- ・文教常任委員会 副委員長



ごあいさつ

令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々の御冥福をお祈りすると共に、被災された全ての皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。また、被災地域の皆様の安全確保と、被災された皆様の生活が1日も早く平穏な日常を取り戻せますようお祈り申し上げます。私自身も何気ない日常の大切さを改めて思い知らされました。

この地震をきっかけに、子どもたちと防災について話しました。皆様も大切な方と万が一の時に備えて、お話ししてみたいでしょうか。

さて、まいだよりも、節目の10号となりました！檜原市でも、市役所本庁舎の解体に伴い令和6年2月頃、市の各部署がリサイクル館などへ一時避難する節目の年となります。市議会も、同様に万葉ホールへと避難することになります。今後の本庁舎整備の具体案は今のところ、定まっていませんが、今後も継続して議会等で議論していかねばならない大変重要な案件です。市の政策や事業に関する皆様のお考え等がございましたら、ぜひ私までお寄せください。これからも皆様と共に檜原市の将来を考えていきたいと思っております。

やわらぎの郷について

12月定例会では議第60号「檜原市福祉センター条例の廃止について」の議案が上程されました。提案理由は、十市町にある「やわらぎの郷」を閉館するために条例を廃止するためです。

やわらぎの郷は、平成8年に供用された保健・福祉施設です。供用後27年を経過し、令和6年3月末に閉館されることとなっております。

やわらぎの郷は、檜原市の指定避難所として位置づけられており、ハザードマップや、市の外国の方向けのガイドブックにも掲載された、寺川北側(十市町・太田市町)の唯一の指定避難所です。

閉館にあたり、市は避難所の代替案等を示さず、「今後検討する」や、「近隣民間施設と交渉する」といった考えでした。私は、代替えの避難所が示さなければ、やわらぎの郷を閉館することは難しいと考え、議案を上程すべきではないと判断し、議案に反対しました。

檜原市役所本庁舎について

檜原市は令和6年度中の解体完了を目指し現在、本庁舎解体工事を行っています。

今後の市役所本庁舎整備について、市は民間施設機能との複合化などを検討するとし、令和6年1月末を目安に公共施設整備に知見を持った民間事業者へ公募型ヒアリングを完了させるとしています。今後の本庁舎について、私が考える課題点は二つです。

- 地域の防災拠点となる耐震性に優れた本庁舎は必要だと考えますが、現状、本庁舎がいつ、どのように建設されるのか不明な点。
- 令和3年3月に廃止された計画では、本庁舎建設費用は57億円とされていましたが、今後の庁舎建設に関する費用が総額でどのくらいになるのかわからない点。

今後、進捗があり次第、皆様にお伝えしていきたいと思っております。



本庁舎整備事業については、市のホームページをご確認ください。



クーポン配付等の決定について

令和6年1月26日(見込)に住民税非課税世帯の方へ7万円支給、令和6年4~5月頃に1人2,000円のクーポン配付が決定しました。(クーポン配付を紙配付で行うと、令和6年2月1日時点で檜原市在住の方を想定)



私は、コロナ禍に聞こえていた子どもたちの「運動会をしたい。」「自由に友達と話したい」「給食を友達と話しながら食べたい。」といった声が吸い上げられず、大人の声で、子ども達の学校生活のことが決まっていたのではないかと感じていました。その一方で、令和5年4月1日「こども基本法」が施行されました。こども基本法とは、子ども施策を総合的に推進することを目的とされた法律で、日本で初めて子どもの権利を包括的に明記した法律です。今回は、こども基本法に関連して檀原市が子ども・若者へ対し、どのように声を拾い上げていくのか、施策に取り組むのか等を質しました。



子どもの権利・・・差別の禁止(差別のないこと)、子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)、生命、生存及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)、子どもの意見の尊重(子どもが意味のある参加ができること)の4つの原則からなり「こども基本法」にも4つの原則の考え方は、取り入れられています。

(質疑概要)

今井	こども基本法は、国が“こども大綱”を定めなければならないとしており、現在策定が進められている。同様に、こども大綱等を勘案し市町村が「こども計画」を策定する努力義務があるが、今後の檀原市における「こども計画」策定を、どのように考えているか。
市の回答	こども計画は、新生児期、乳幼児期、学童期及び思春期の各段階を経て大人になるまで切れ目なく行われる子どもの健やかな成長に対する支援、子育てに伴う喜びを実感できる社会の実現のための就労、結婚、妊娠、出産、育児などの各段階に応じた支援など、こどもや若者に関する施策についての計画となる。檀原市も、こども施策を行う上での指針となる「こども計画」策定に向けて、取り組みを進めたい。
今井	こども基本法は、施策に対する子どもの意見反映を定めているが、市はどのように考えているか。子どもや若者「安心できる場所」や「自分らしくいられる場所」といった居場所の中でも、子ども食堂のような、置かれている環境にとられず集まれる場所が必要だと考えるが、今後の子ども食堂への補助金等の支援はどのように考えるか。
市の回答	子ども達の意見反映状況を、市ホームページ等で発信できるよう検討していきたい。同様に、こども食堂の紹介やレポートも掲載している。また、令和5年度は子ども食堂物価高等策支援金を創設し財政面でもサポートを行った。新たに子ども食堂を始める際の補助金等について、検討を行っているが、まずは奈良こども食堂ネットワークと連携し開設を希望する方へ情報提供や紹介を行いたい。
今井	こども計画の策定、こどもの意見のフィードバック、子ども食堂開設への補助金等の創設や継続について、市長の考えは。
市長	こども計画については、策定できていないものがあることを理解したため、実行性のある計画の策定に向けて取り組む。フィードバックも、子どもへ出来たこと出来なかったことを伝えていくことは重要であり取り組みたい。子ども食堂への補助金は、当事者の声を聴き検討していきたい。

活動報告



広陵町議会議員のちぎたさんの YouTube チャンネルに出演させていただきました！私がなぜ議員になろうと思ったのか等をお話させて頂いています。動画は、QRコードからご覧いただけます。



檀原商工会議所主催の「新年賀詞交歓会」に出席しました。(写真は、市議会の議員さん方と。)賀詞交歓会とは、新年の挨拶や名刺交換を通して、取引先企業や関係者同士の交流を深める会とのことだそうです。元パート勤めの私にとって、初めて聞く言葉でした。多くの方とお話しでき対話の重要性を改めて実感しました。



令和6年1月10日に大和八木駅にて、令和6年能登半島地震への支援募金活動に参加しました。

地域で動く皆さんと共に、被災地の1日も早い、復興と支援をうたえました。

私も、復興に向けて出来ることを模索すると共に、「奈良盆地東縁断層帯地震」や「南海トラフ地震」などへ檀原市の災害対策・支援体制・避難所・備蓄体制等の備えが、より良いものとなるよう意見していきたいと思えます。



今井りか 後援会

あなたの声をお聞かせください。

今井りか後援会では、今井りかの活動を支援くださる仲間を随時募集しております。会費や入会金などは一切ありません。次のような活動に興味や関心がある方も、ぜひご連絡ください。

- ・日常に困りごとがある方
- ・檀原市政について、意見や要望がある方 など

今井りか 後援会事務所

Mail rika.imai0411@gmail.com
TEL 080-8305-4364



一般質問の様子をご覧頂けます♪



今井の SNS 一覧です。フォロー頂ければ幸いです。

